

環境試験設備の維持・運営の民営化に係る
情報提供要請（RFI: Request for Information）回答の公表について

公開日：平成 30 年 12 月 6 日（木）
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
環境試験技術ユニット

1. 概要

これまで、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、「JAXA」という）は、我が国の宇宙開発に必須な環境試験設備（以下、「試験設備」という）を保有・維持し、宇宙開発に貢献してきました。近年の現状を踏まえ、JAXA は、日本の宇宙開発の着実な遂行のための試験設備の効率的かつ確実な維持と共に、環境試験に関わる技術・設備の宇宙開発以外の一般産業界への利用拡大・社会還元を目指し、PPP（Public-Private-Partnership：官民連携）的手法による試験設備の維持・運営の民営化事業（以下、「新たな事業」という）を検討しております。

JAXA では、民間事業者とこの新たな事業の事業構想を共有するとともに、新たな事業の内容を検討する際の参考とする目的で RFI を実施し、民間事業者が要望する事業内容などについて情報を収集しました。結果として、複数の民間事業者からご回答をいただきました。そこで、今後の検討において公平性を保つため回答の概略を公表いたします。

なお、回答の概略については、民間事業者から公表の承諾を得ている内容のみを公表いたします。

2. RFI の実施スケジュール

本 RFI に関する実施スケジュールは下記のとおりです。

実施内容	実施日程
RFI 本文、別紙-1(事業概要)、別紙-2(情報提供書テンプレート)の公表	【済】平成 30 年 8 月 22 日(金)
RFI 説明会の開催	【済】平成 30 年 9 月 5 日(水)
別紙-3(事業概要(補足))を追加公表	【済】平成 30 年 9 月 21 日(金)
情報提供書の提出締切	【済】平成 30 年 10 月 19 日(金)
情報提供書提出業者へ回答内容のヒアリング実施	【済】平成 30 年 10 月 29 日(月)～ 平成 30 年 11 月 16 日(金)
RFI 回答の概略の公表	平成 30 年 12 月 6 日(木)
RFI 回答に対する検討・対話の実施	【予定】平成 30 年 12 月 6 日(木)～
RFI 回答に対する整理状況の中間公表	【予定】平成 31 年 2 月

3. RFI 説明会の参加事業者数

合計：5社

4. RFI 回答提出事業者数

合計：4社

5. RFI 質問概要

新たな事業に係る下記の内容について、質問を行いました。

- (1) 設備等（試験設備、建屋およびエリア）の利用方法について
- (2) 設備等の改修および新設の要望について
- (3) 現設備（13設備）の他に対象を希望する設備について
- (4) 新たな事業の継続が困難にならない対策・工夫について
- (5) 法定組織の体制を民間事業者自身で構築することの利点について
- (6) 輸出管理を民間事業者自身で実施することの利点について
- (7) JAXA から民間事業者に対しての設備等の老朽化費用の平準化支払いの方策について
- (8) JAXA に対する開示情報等について
- (9) JAXA に対する規制緩和、参入決断にあたっての検討期間、ご意見・ご質問について

6. RFI 回答の概略

RFI における質問の(1)から(9)における JAXA への提案内容の概略を下記に示します。

(1) 設備等（試験設備、建屋およびエリア）の利用方法について

- ・人工衛星等の受託試験
- ・宇宙開発以外の一般産業界向けの受託試験
- ・企業・大学向け研修
- ・保有技術のセミナー開催、企業などからの技術相談
- ・機能試験や組立等を行う作業場所の提供
- ・製品の設計・製造のための場所利用
- ・一般向け設備見学ツアーおよび体験
- ・屋外の衛星通信の可能な簡易実験局の整備

(2) 設備等の改修および新設の要望について

- ・試験設備、装置の新設
- ・事業目的に合わせた建屋外壁、内装の変更
- ・汎用試験規格に対応するための既存設備の改修

(3) 現設備（13 設備）の他に対象を希望する設備について

- ・JAXA 小型衛星試験棟の試験設備
- ・JAXA 研究開発用の試験設備

(4) 新しい事業の継続が困難にならない対策・工夫について

- ・JAXA プロジェクト試験の増加
- ・公的機関等による人工衛星等のプロジェクト試験の受注
- ・JAXA と民間事業者の責任分担の具体的・明確化
- ・これまでの保守、不具合、改修内容記録に基づいた事業計画の考案
- ・人工衛星等の取扱いを含む、一括した試験請負サービス
- ・設備利用に必要な手続きの簡略化、サポート対応
- ・マスコミへの PR 活動

(5) 法定組織の体制を民間事業者自身で構築することの利点について

- ・ 高圧ガス保安検査の日程を設備使用計画に合わせて臨機応変に設定、変更可能
- ・ JAXA 内部異動に左右されない体制構築による手続きの効率化

(6) 輸出管理を民間事業者自身で実施することの利点について

- ・ 海外からの試験等の受入れや需要拡大
- ・ 手続きなどの時間的な短縮による効率化

(7) JAXA から民間事業者に対しての設備等の老朽化費用の平準化支払いの方策について

- ・ 銀行等からの資金調達
- ・ アセットマネジメント（資産管理）方式の導入

(8) JAXA に対する情報開示要望事項について

- ・ 事業に関連する電気料金、光熱費等の情報
- ・ 過去の民間利用実績及び利用価格
- ・ 各試験設備のメンテナンスがどういった企業に発注されているかといった情報
- ・ 各試験設備の取扱説明書
- ・ 各試験設備を運転するために必要な人数に関する情報
- ・ 現在の設備管理規定および試験規定
- ・ 現設備の資産価値
- ・ 作業の業務手順書と現行コストと人員
- ・ 試験における実施内容の詳細、契約等の詳細や制限事項
- ・ 試験設備等毎の老朽化に伴う更新費の年度毎実績及び年度毎将来見通し
- ・ 点検項目・試験項目の詳細及び作業人員やコストの詳細開示
- ・ 当該試験設備の図面、過去の運転・維持管理データ等の各種の情報
- ・ 不具合、修理の頻度、及び修理金額
- ・ 保守点検記録、不具合・改修記録、性能測定結果等
- ・ 試験設備を維持・運営していくために必要な法定資格、必要人数などの情報
- ・ 法定組織の条件・体制の開示

(9) JAXA に「」に対する規制緩和、参入決断にあたっての検討期間、ご意見・ご質問について

- ・ 1年～1.5年程度の検討期間
- ・ 設備利用者向けのセキュリティレベルの緩和
- ・ リスク分担の考え方、民間事業者側の責任範囲
- ・ 各試験設備を維持・運営している企業からの十分な引継ぎ
- ・ 計測器及び付帯設備の提供
- ・ 設備の性能規定についての要求水準
- ・ 大規模更新時の更新費用負担
- ・ 不可抗力による施設、設備の破損時等におけるリスク分担
- ・ 現設備のメーカー保守撤退時におけるリスク分担
- ・ 老朽化した設備の性能維持の範囲の明確化
- ・ 包括的・継続的な見学許可

7. RFI 回答を踏まえた今後の予定

今後、RFI 回答を踏まえて、JAXA から民間事業者へ開示可能な情報を整理し、新たな事業の事業方式や公募条件の整理・検討するために、引き続き、広く民間事業者と対話を行います。また、事業の対象となる設備、建屋およびエリア等の見学を広く受け付けます。

8. 問合せ先

本資料の内容についてのご質問及び対話を希望される場合は、下記に問合せ下さい。

--

JAXA 環境試験技術ユニット（担当：戸高）

所在地：茨城県つくば市千現2-1-1 筑波宇宙センター

電話：050-3362-8654

Email：todaka.daichi@jaxa.jp

--

以上